

バス停タイムス

2019年 8月 9日

No.47

発行者

杉澤秀則

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

SMT・この夏は乗り切れるのか!?

大井基地で働く仲間みなさん！梅雨明けと同時に猛暑日が続く、体調を崩されている方も多々と思われまふ。どうか皆さんお身体に気をつけていただきたいと思ひます。

SMT（新幹線メンテナンス東海）では、人（要員）が減ったのに作業量が増えています。現場で働いている皆さんの大変さを、SMT本社や内勤はどこまで理解しているのでしょうか？ 管理者は巡回や講習会で「あゝしろ！こうしろ！」と言うけど、じゃあ実際に多客輸送期間・猛暑の中で一度自分で作業をしてみよ！と言いたくなりませんか。私たちJR東海労は現場で汗水流して働いている皆さんの声を大事にしてSMT会社に改善を求めたいと思ひます。



希望する日に年休が取れる職場環境を！

希望する日に年休が取れない！ 年末年始やお盆でも働いているのだから、希望する日に年休を取らせろ！ 付与できないときは代わりの日を提示しろ！ などなど、年休が取れない現状に辟易している声が聞こえてきます。

年休が取れず、仕事の疲労が蓄積して体調不良になり、その結果「不参」となったとしたら、その責任は会社にもあります。「しっかり体調管理を…」とはいうものの、口だけではだめです。その原因は、新人が入らず慢性的な要員不足、入っても直ぐに辞めてしまう、そして社員も辞めていくのは労働条件、職場環境に問題があるからではないでしょうか。

従業員が定着できるように労働条件・職場環境改善を！



皆さんは、日中は言うまでもなく夜間でも温度が下がらない検修庫で、頭がボーッとしながらでも一生懸命に作業を行っています！ SMT本社は本気で要員確保をするべきです。

今いる皆さんや、新人の方が定着できるように労働条件・職場環境を改善するべきです。

嘱託社員の声を大切に、働きやすく！

新人が入らず、嘱託社員に頼らざるを得ない状況の中で、会社は嘱託社員の重要性をどう考えているのでしょうか？長く働いてもらいたいのなら、年齢を考慮した出勤日数、作業マニュアル(要員配置)などを見直して働きやすくする必要があります。会社は嘱託社員の意見を大切にして、よ〜く聴くべきです。



先行作業の要員確保を！

新中Aになって疲れが増大しています。例えば、多客輸送期間は車内の汚れ、ゴミの量も増え、先行作業が非常に重要度を増します。その要員をしっかりと確保する必要があります。また、欠員が多く出て、機動班で対応ができない時は、是非とも内勤者も入ることを考えた方がよいのではないのでしょうか。さらには、作業も気づかないような状況に遭遇する場合がありますが、それに気づけなかったとして「作業ミス」にしないで、会社はしっかりと従業員のことを守るべきです。

労災で居づらくなるのは違法である！！

不運にも労働災害に遭い、そのことで会社に責められ退職を余儀なくされた方がいると聞きます。労働災害を隠すのは犯罪行為です。会社は労働者を保護する責任があります。にもかかわらず居づらくするようなことがあれば、それは由々しきことです。

コンプライアンス（法令遵守）は会社存続の重要な要件です。離職率の高さを改善するためにも会社には猛省してもらう必要があります。

SMT職場にJR東海労の組合掲示板設置実現！！

SMT・東京トラベルサポート事業所（東京駅における遺失物・車椅子対応業務）の鍛冶橋事務所に、JR東海労の組合掲示板が設置されました。これまでの団体交渉の積み重ねの結果で、SMT職場の職場環境改善のためにも有効に活用していきます。



安全と健康を守り、働きやすい職場環境を目指して、一緒に声を上げましょう！！

連絡先(新幹線地本) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-6-5 TEL03-3201-0350
ホームページアドレス <http://jrcushinkansen.sakura.ne.jp/>
メールアドレス jrcushinkansen@yahoo.co.jp